

むねあかどり

『地域の HUB（ハブ）＝つなぎ役に』高齢社会・障害者福祉を学び、介護してる方へのリフレッシュを。

地域での課題

- コロナ禍において、社会の繋がりの希薄化
- 高齢者や認知症、障害者に対する知識や理解の不足
- 当事者への公的支援は多いが、介護者への直接的な支援サービスが少ない

事業内容

- 地域密着型のカフェやレンタルスペースを会場に 3 部制の交流会を開催
交流会テーマ：高齢社会・障害者福祉の学びと憩いの場
 - 第 1 部： 会場 カフェシンシア（軽食付き）
内容 ①音楽 ②認知症サポート養成講座 ③手話
 - 第 2 部： 会場 カフェシンシア（軽食付き）
内容 ①音楽 ②介護保険とはなにか ③手話講座
 - 第 3 部： 会場 北習志野てわたし図書館（食事一部付き）
内容 ①音楽 ②障害と障害のある人への理解
- 一般市民を対象とし、各回 30 名程度を想定

事業を通じて期待すること

- 高齢者や認知症、障害者に対する理解の促進
- 音楽や人的交流を通じた介護者への支援

担当者	松本 直子
連絡先	n.grace.home.ask.0331@gmail.com